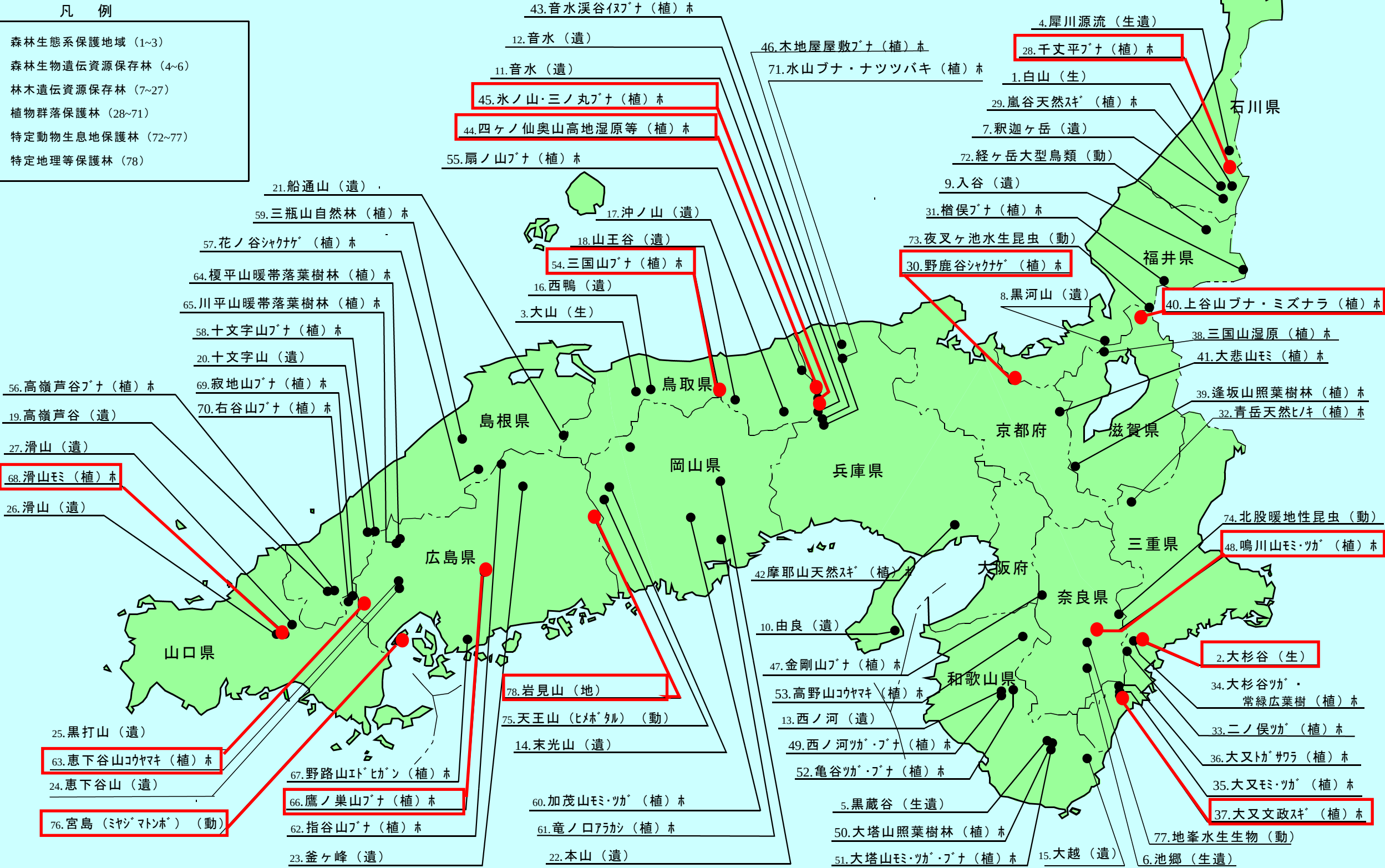


保護林の現状

近畿中国森林管理局管内の保護林

凡 例

(生)	森林生態系保護地域 (1~3)
(生遺)	森林生物遺伝資源保存林 (4~6)
(遺)	林木遺伝資源保存林 (7~27)
(植) 木	植物群落保護林 (28~71)
(動)	特定動物生息地保護林 (72~77)
(地)	特定地理等保護林 (78)



○大杉谷森林生態系保護地域

南伊勢森林計画区（三重県大台町 大杉谷国有林）

保護の目的 大台ヶ原山の北東側に当たる大杉谷国有林の中に残されている原生的な天然林の保存

1, 390. 75ha

（保存地区：509. 12ha，保全利用地区：881. 63ha）

現 況 森林の健全性や持続性、種の多様性やその他公益的機能に関する絶対的な評価は高い林分が多い。概ね評価結果は良好な状態を維持している。しかし、いずれの植生帯においても広範囲でニホンジカの食害による林冠木の衰退、後継個体の更新・生育の不良が見受けられた。今後とも注意して継続観察する必要がある。

取 扱 方 針 保存地区は森林生態系の厳正な維持を図ることを旨とし、原則として人為的行為は加えず、自然の推移に委ねる。保全利用地区は、保存地区と同質の天然林とし、人工林の場合は複層林施業を行うことができる。

ニホンジカによる剥皮被害や林床植生への被害がみられる林分では、被害対策として樹木への剥皮防止用ネット巻きや防護柵を設置する。対策検討にあたっては、平成24年度保護林モニタリング調査で得られた被害状況に加え、ニホンジカの動向等も勘案し、個体数調整も実施する。



ブナ



トウヒ

○千丈平ブナ植物群落保護林

加賀森林計画区（石川県白山町 千丈ヶ峰国有林、蛇谷国有林）

保護の目的 大笠山、宝剣岳及び千丈平一帯のブナを主体とした天然林の保護
856.88ha

現 況 標高は約750m～1,800mに位置し、保護林内においては保護対象樹種であるブナの大径木を中心とした落葉広葉樹林がひろがり、コシアブラ、ミネカエデ、リョウブ、ナナカマド、ミズキ、オオカメノキ等多様な小径木がみられた。林床にはチシマザサに混じってシラネウラボ、ヒメモチ、ヤマソテツ等の多様な木本・草本類が生育している。

また、ブナは各所で健全に生育しており、高齢木から若齢木まで幅広い樹齢の個体が全階層で確認され、稚幼樹や小径木も確認された。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要な効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。



ブナ



遠景

○上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林

湖北森林計画区（滋賀県長浜市 上谷山国有林）

保護の目的 日本海型ブナ林の南限付近で海拔 500m からブナ・ミズナラが優占的かつ広範囲に分布するブナ・ミズナラ群落の保護

573.74ha

現 況 保護対象樹種である主要構成種ブナ、ミズナラが健全に生育している。しかし、一部でニホンジカによる剥皮が確認されたことから、今後の植生への影響に注意して継続観察する必要がある。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要かつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。

下層植生に対するニホンジカによる恒常的な食圧を排除するための方策を講じ、後継樹の育成を含めた下層植生の回復を図る施業を実施する。



ミズナラ



ブナ

○氷ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林

揖保川、円山川森林計画区（兵庫県宍粟市ほか 坂ノ谷国有林ほか）

保護の目的 裏日本地帯における西限付近のブナ・オオバクロモジ群落の天然林の保護

384.75ha

現 況 林床のほとんどがチシマザサで覆われており、高標高地では立木密度が低い。低標高地では、ブナやミズメなどの大径木その他、林内にはトチノキ、ウリハダカエデ、コシアブラ等の中小径木が生育している。全体にチシマザサが覆っており保護対象樹種のブナの実生はほとんど見られない状況である。そのうえ、オオバクロモジ、ミズキ、ウリハダカエデ等の広葉樹がニホンジカによる被害を強く受けていることから、森林としての存続が危ぶまれる。森林の存続も含め、今後の変化を慎重に継続観察する必要がある。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要なかつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。

下層植生に対するニホンジカによる恒常的な食圧を排除するための方策を講じ、後継樹の育成を含めた下層植生の回復を図る施業を実施する。



ブナ



ブナ

○三国山ブナ植物群落保護林

千代川、天神川森林計画区（鳥取県鳥取市 山王谷国有林ほか）

保護の目的 三国山における代表的なブナを主体とした高齢級天然林の保護
319.03ha

現 況 ブナを中心とした広葉樹林で、天然スギが混生している。場所によってはブナの倒木・枯死木がみられるなど、林分の衰退が進んでいた。天然スギ、ブナ、ミズナラとにも見られた。ニホンジカによる被害はない。下層植生においてチシマザサが繁茂しているため、ブナの実生がわずかにみられるのみで、後継木はほとんどみられない状態であるが、概ね良好な状態を保っている。今後はチシマザサの繁茂状況について注意して継続観察する必要がある。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。
保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要かつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。



ブナ



遠景

○宮島特定動物生息地保護林

太田川森林計画区（広島県廿日市市 宮島国有林）

保護の目的 ミヤジマトンボ生息地の保護

1, 065. 93ha

現 況 ミヤジマトンボは海岸に面して開けた谷の谷底にできた湿地に産卵する。湿地は山間からの湧水を水源とし、水際にはヒトモトススキやヨシが生育している。湿地は、大潮の満潮時には海水が入り込み、短期的に海水と同じ塩分濃度となる。しかし、干潮とともに塩分濃度は低下し、山間から湧き出す淡水により、ほぼ真水に近い塩分濃度に戻る。

ヒトモトススキ群落の前面は、傾斜が浅い泥干潟が広がり、植物遺体を起源とする浮泥が薄く堆積している。幼虫はヒトモトススキの根際の泥の中で確認されている。成虫は湿地とヒトモトススキ群落の周辺から斜面中腹にかけての林縁部や、ギャップとなりシダ類が生育しているような環境に個体数が多い。

谷筋から中腹にはヒサカキ、ヤマモモ、ミミズバイ、モチノキ、サカキ、ヤブツバキなどが見られ、草本層にはコシダ、ウラジロが密生している。斜面中腹から尾根にかけては、樹木の生育は疎らであるが、常緑広葉樹にアカマツも混生している。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。適宜巡視を行って保護対象のミヤジマトンボの不法採取がないよう対策を講じ、ミヤジマトンボの繁殖を図る。



ミヤジマトンボの繁殖地近くの林況



ミヤジマトンボ

○鳴川山ウラジロモミ・コメツガ植物群落保護林

北山・十津川森林計画区（奈良県天川村 鳴川山国有林）

保護の目的 大峰山系における代表的なウラジロモミ・コメツガ天然林の保護
249.58ha

現 況 ウラジロモミやコメツガ、ヒノキなど針葉樹とブナ、ミズナラなど落葉広葉樹が混生する林分で、高標高地では保護対象樹種であるウラジロモミやコメツガが生育している。下層はコハウチワカエデ、リョウブ、アオハダが生育しており、草本層はニホンジカの採食圧により貧弱な植生となっている。また、一部の急傾斜地では、表層土壌に浸食が見られるが林分への影響は少ない。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要かつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。

下層植生に対するニホンジカによる恒常的な食圧を排除するための方策を講じ、後継樹の育成を含めた下層植生の回復を図る施業を実施する。



ウラジロモミ



コメツガ

の かに
○野鹿谷シャクナゲ植物群落保護林

若狭森林計画区（福井県おおい町 野鹿谷国有林）

保護の目的 自生シャクナゲ（天然記念物）の保護

4. 00ha

現 況 周辺はスギ・ヒノキの人工林となっている。保護対象種であるホンシャクナゲは健全に生育しているが、保護林の高標高部（南部）ではニホンジカの影響により低木層の植被率が低く、林床植生も乏しくなっている。シャクナゲ類はニホンジカの不嗜好植物と考えられているが、ミヤマシキミ等有毒植物の採食事例もあるため、注視する必要がある。

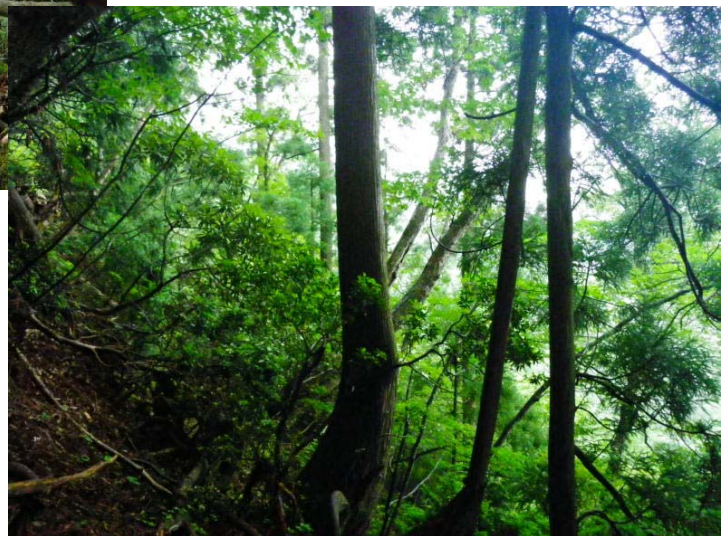
取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要かつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。

下層植生に対するニホンジカによる恒常的な食圧を排除するための方策を講じ、後継樹の育成を含めた下層植生の回復を図る施業を実施する。



シャクナゲ



林況

○大又文政スギ植物群落保護林

尾鷲熊野森林計画区（三重県熊野市 大又国有林）

保護の目的 文政年間に植栽されたスギ林の保護

1. 50ha

現 況 ニホンジカの痕跡が見られたものの、低木層、草本層ともに、シカの嗜好植物が特異的に繁茂している状況ではない。

文政年間（1818～1829）に植栽されたスギの純林が健全に生育していることから森林の健全性は保たれていると考える。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要な効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。

下層植生に対するニホンジカによる恒常的な食圧を排除するための方策を講じ、後継樹の育成を含めた下層植生の回復を図る施業を実施する。



文政スギ



文政スギ

○四ヶノ仙奥山高地湿原等植物群落保護林

円山川森林計画区（兵庫県養父市 四ヶノ仙、奥山国有林）

保護の目的 中国地方の代表的なスギ天然林相の保護及び貴重な古生沼高地湿原の保護

4. 41ha

現 況 保護対象群落であり、主要構成種のスギ、ブナが生育しているが、各所でニホンジカによるスギへの剥皮等が確認されたことから、今後の経過に留意する必要がある。特に古生沼のシカ防護柵外で生育するスギ及び下層植生は、今後の変化を慎重に継続観察する必要がある。

また、湿地性植物の保護の観点から、シカ防護柵のメンテナンスや古生沼の面積減少の調査等についても各機関と連携し実施していく必要がある。

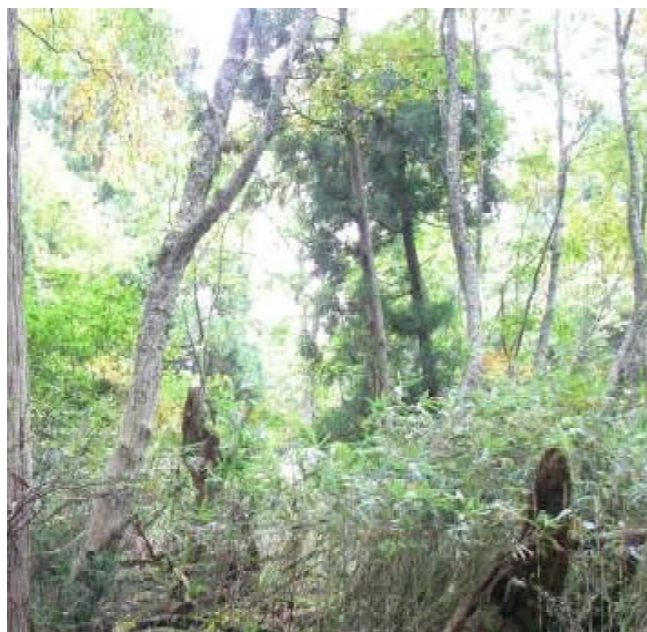
取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要かつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。

下層植生に対するニホンジカによる恒常的な食圧を排除するための方策を講じ、後継樹の育成を含めた下層植生の回復を図る施業を実施する。



アイバソウ



ブナ

○恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林

太田川森林計画区（広島県広島市 恵下谷山国有林）

保護の目的 当地方には希少で学術的価値を有する個体の維持保護

1. 49ha

現 況 コウヤマキの他、ヒノキ、スギの大径木が林冠を形成している。コウヤマキは壮齢木が多く、幼木は少ない。林内にはユズリハ、サカキ、ヤブツバキ、ウラジログシ等の常緑広葉樹の小・中径木が生育している。

ニホンジカによる被害はなく、下層植生においてコウヤマキがわずかにみられ、概ね良好な状態を保っている。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種のコウヤマキは人工林であり、群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要なかつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。



遠 望



コウヤマキ

○鷹ノ巣山ブナ植物群落保護林

瀬戸内森林計画区（広島県東広島市 鷹ノ巣山国有林）

保護の目的 中国地方の暖帯落葉樹林を代表する高齢級天然林の保護

4. 04 ha

現 況 保護林内の斜面上・中部には、保護対象樹種であるブナ、モミが優占する暖帯落葉樹林がひろがり、林床はシキミが優占していた。保護対象樹種の実生・稚樹はモミが確認されたが、ブナは確認されなかった。枯損木は少なく、風や雪などの気象害は無いと思われるが、シカによるとと思われる林床の植生の変化がおきており、ニホンジカの糞が確認された。

取 扱 方 針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。

保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要かつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。

下層植生に対するニホンジカによる恒常的な食圧を排除するための方策を講じ、後継樹の育成を含めた下層植生の回復を図る施業を実施する。



ブナ



ブナ

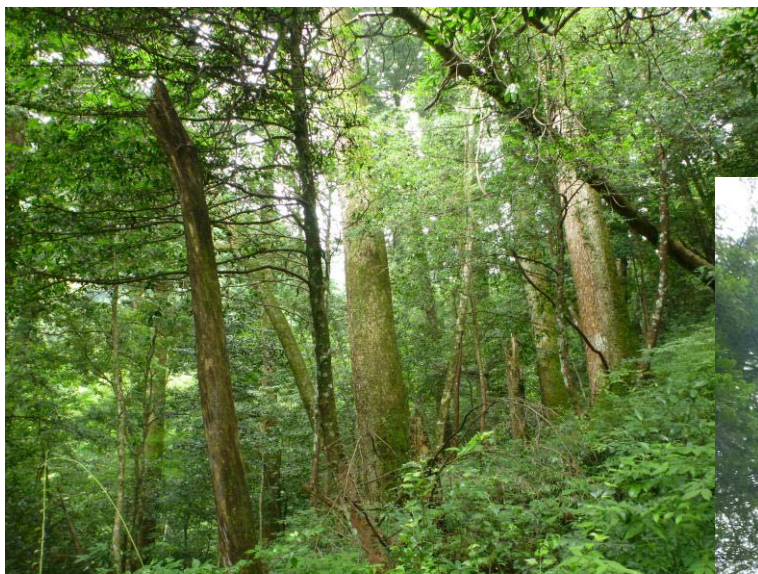
○滑山モミ植物群落保護林

山口森林計画区（山口県山口市 滑山国有林）

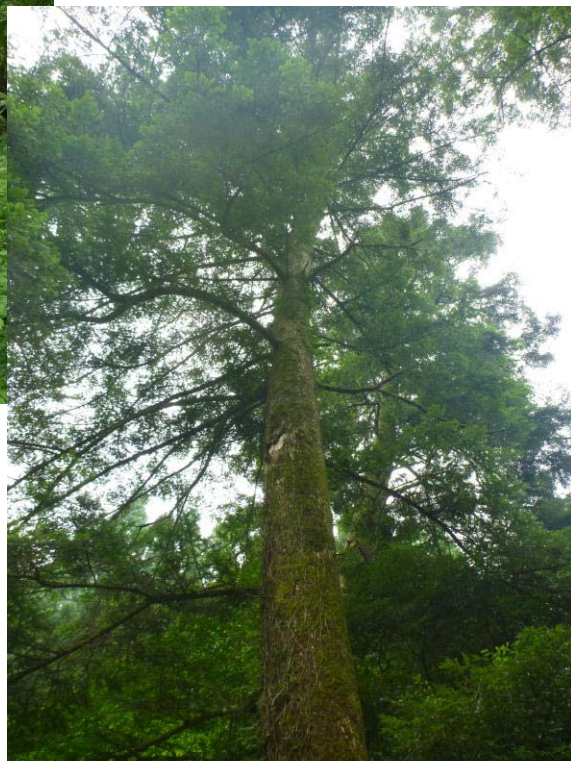
保護の目的 江戸後期（1801～1829）毛利藩によりモミの山引苗を植栽した林分で、歴史的、学術的に価値が高いモミの巨木を主体とした林分の保護
3.47ha

現況 高木層はモミの巨木が林冠を形成している。亜高木層はタブノキ、ウラジロガシ、ミズメ等が生育し、低木層にはシロダモやホソバタブ等の常緑樹が散見される。また、草本層でもサカキ、シロダモ、ヒサカキ等の常緑樹が確認される。

取扱方針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行う。
保護対象樹種の群落が衰退しつつあり、更新補助作業又は保育を行うことが保護に必要なかつ効果的であると認められる時は、蒔き付け、植え込み、刈出し、除伐等の施業を行う。この場合、種子及び苗木については、当該保護林及び当該保護林に隣接する天然生林から採取した種子、苗木を使用する。



モミ



モミ

○岩見山特定地理等保護林

高梁川上流森林計画区（広島県神石高原町 岩見山国有林）

保護の目的 仁吾川が浸食され、石灰岩を中心とした岩壁や、多彩な植物相とあい
まった特異な自然景観の保護及び学術研究のため

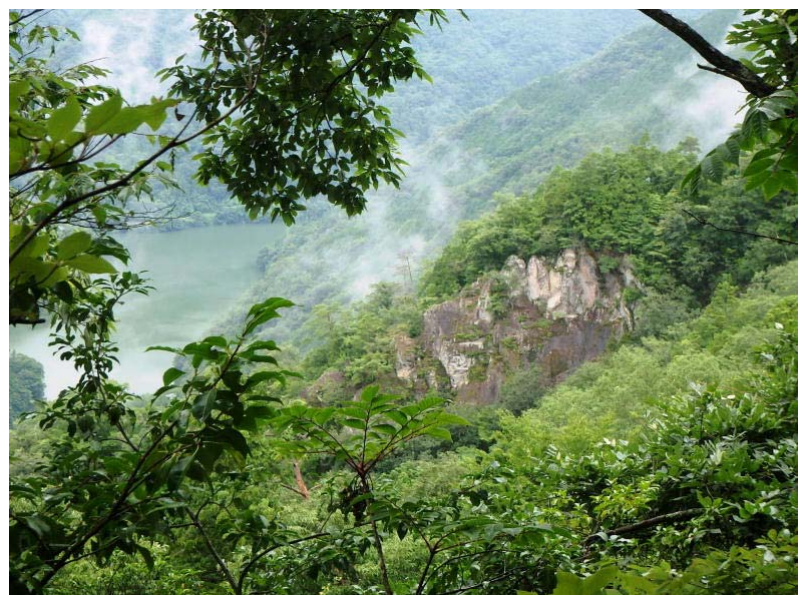
29.64ha

現況 アカマツ、コナラ、ソヨゴ等が優先する針広混交林。

取扱方針 原則として人手を加えず、自然の推移に委ねた保護管理を行い、石
灰岩の岩壁を保護する。



石灰岩を中心とする岸壁



岸壁及び周辺林況